

# かねばら

平成三十年十月二日  
発行者 校長・園長 與古田思信

## 創立七十周年記念大運動会で子どもが輝く

「世界NO1の笑顔で みんなが主役 最高の仲間と共に 支え合い輝く兼原つ子」をスローガンに、創立七十周年記念大運動会が二十三日に行われました。暦の上では「秋」ですが、とても暑い晴天の中での運動会になりました。子どもたちは、暑さの中でも元気いっぱい演技してくれました。

幼稚園児から二年生までの「かけっこ」三年生以上の「学級対抗リレー」は、見る人に感動を与えるものでした。各字対抗のPTAリレーも、大きな盛り上がりでした。

幼稚園生は、一人一人が「兼原戦士 ワイドー」になって、リズムに合わせて赤・青・ピンクのポンポンを軽快に振りながら、元気いっぱい演技しました。どの子も自信をもって演技していました。

一年生は、各クラス対抗の玉入れを行いました。七十周年にちなんで、各クラス七十個の玉を、身長の数以上もあるのをめがけて玉を入れました。小学校初めての運動会で、玉入れだけでなく見事なダンスも披露しました。

二年生は、ドラエモンの曲に合わせて楽しく踊った後、校歌ダンスを元気いっぱい踊り、七十周年をお祝いしました。校歌ダンスは、約三十年ぶりに昨年復活したそうで、地域の方にとっては、小学校の頃を思い出するような懐かしい踊りだったことでしょう。

三年生は、YMCAの曲に合わせて、三人で力を合わせ、心一つにして「兼原タイフーン」を行いました。練習を初めたころはスピードが合わず転びそうでしたが、運動会では、うまく走れるようになりました。最後は、七十周年の喜びの気持ちを表現してくれました。



四年生は、日本の祭りの一つ「よさこい祭り」で踊られる「がらちう」に挑戦しました。両手で鳴子を響かせ、軽快なリズムに合わせて笑顔で踊りました。見る人も、心が躍る演技でした。

五年生は、「一致団結」をテーマに、一人一人が自分の役割を持ち、集団行動を行った後、騎馬戦を行いました。大きく成長した五年生の騎馬戦は圧巻でした。最後のサプライズ「七十」の文字も決まっていました。

六年生は、地域の伝統「エイサー」を「勇ましく」かつ「しなやかに」踊りました。これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを「大太鼓」「小太鼓」「パーランクー」「手踊り」「チヨングラー」「三味線」に込め、七十周年記念大運動会を盛り上げました。

応援合戦は、赤白の応援団を中心に盛り上がり、全児童で行った大玉送りも圧巻でした。運動会のために、保護者の方々に多くのご協力を頂きました。九月九日にPTA作業をはじめ、運動会前々日の会場設営、運動会当日の散水、校内外の巡回、運動会後の後片付けも行っていました。おかげで、七十周年記念にふさわしい素晴らしい運動会が出来たと思います。ありがとうございました。

## 校内電話お話大会

九月十二日校内電話・お話大会を行いました。運動会の直前でしたが、各学年の代表になった児童のみなさんは、どの子も堂々と発表しました。どの子も素晴らしいお話でしたが、厳正な審査の結果、次の四人が学校代表になりました。今月十日に行われるうるま市大会でも頑張ってください。

- 低学年男子 三年 佐和田 大空 女子 三年 大里 真愛留
- 高学年男子 五年 小山 嵐士 女子 五年 喜屋武 菫香



## ノーベル賞

▼今年のノーベル賞の発表が近づいてきました。医学生理学賞は十月一日、物理学賞は二日、化学賞は三日、平和賞は五日、経済学賞は八日の予定です。毎年のように村上春樹氏が候補に挙がっている文学賞は、今年の発表はないそうです。▼二〇一六年まで、毎年のように日本人がノーベル賞を受賞し話題になりました。一昨年の大隅先生の受賞は、記憶に新しいところです。▼今年も、多くの日本人が受賞者候補として挙がり、発表をワクワクしている方も多いと思います。▼資源の少ない日本では、科学技術分野で世界をリードすることが大変重要なことだと思います。▼本校の子ども達も、様々な事に挑戦してほしいと思います。そして、将来ノーベル賞を受賞する子が出るとうれいんですね。(與古田)